



学校だよりNO20

令和3年9月3日

児童数 471人

薫っ子



文責 校長 古川 次男

まず低く・頭を守り・動かない

9月1日は、防災の日でした。これは、1923年の9月1日に発生した関東大震災にちなんで制定されたものです。10万人以上の死者・行方不明者（死者の多くは、地震発生後の火災によるもの）を出したとても大きな災害でした。9月1日を基準日として、多くの自治体では防災訓練を実施しています。関東大震災といわれても、100年近く前のことなので実感にくい感じもします。私たち東北に住むものとしては、2011年の3月11日に発生した東日本大震災の方が、災害としては実感できるのではないのでしょうか。あれから、もう10年もたってしまったのですが・・・。

地震（災害）は、いつ起きるかわかりません。だからと言って、備えをしておかなければ自分の命を守ることもできません。「安全・安心」な学校生活を進めていくことが、私たち学校関係者が一番に心がけなければならないことだと思います。

「まず低く・頭を守り・動かない」は、地震発生時の避難に対する大切なキーワードです。自転車乗車時に、ヘルメットをかぶって頭を守るということも、同じ考え方からきていると思います。人間の体の中で「頭」はとても大切です。ですから、子どもたちにとっても、身に付けてほしい大切な考え方だと思います。

本校でも、防災の日の1日前の8月31日に、避難訓練を実施しました。今回は、コロナ禍ということもあり、机の下に避難する第1次避難だけの実施で、全校生が校庭へ避難する第2次避難は実施を見送りました。その代わり、学級ごとに避難経路の確認と安全指導を行いました。

緊急放送に従い、写真下左の通り机の下に上手に身を隠す児童がほとんどで、校舎内での第1次避難は身についていると感じました。その後、「安全ガイドブック」などを使い、学級での安全指導を行いました。1年生は、購入した防災頭巾のかぶり方を実際に練習（写真下右）するなど発達段階に応じた指導をしました。

